
出し忘れた請求は担当AIが見つけ、 追加の請求書の下書きまで作り、 社長は迷う1件を決めて承認するだけ

AIエージェントの動き方の一例（見本：架空の運送会社）

株式会社SeKnAck

見本の運送会社・荷主・運転手・金額は架空です。見本のため、請求書は作っただけで、どこにも送っていません

請求書は配車表から作られ、当日に引き受けた待機や追加の便は日報にしか残らないため、締めのたびに請求が漏れやすい

小さな運送会社で締めの請求に起きること（見本の運送会社の例）

	1 請求書は配車表から作られる	2 日報と明細を1便ずつ見比べる手間	3 長い付き合いの荷主の待機料
起きていること	■ 請求書の行は、前の日に決めた配車表から事務の森さんが作る ■ 電話で頼まれた追加の便・荷主の都合の待機・頼まれて寄った先は、運転手の運行日報にだけ書かれる	■ 10月15日締めの運行日報は177便、出した請求書の明細は181行 ■ 待機・立ち寄り・メモを、明細と1便ずつ見比べる 運行日報177便の 便数 うち 待機が30分を 6便 超えた便 立ち寄りが 4便 書かれた便 運転手のメモが 8便 ある便	■ みなと食品（取引15年）の待機料は、2024年4月に料金表に載せたが、一度も請求していない ■ 請求するかは、岡田社長が決める決まり
そのため	➢ 当日に引き受けた仕事の料金が、請求書に載らないまま締まることがある	➢ 締めのたびに見比べる手間が重く、後回しになりやすい	➢ 社長が決めるまで、その荷主の追加の請求書が仕上がらない

注：1は見本の「請求の決まり」の1、2は見本の運行日報と請求済みの明細（2026年9月16日～10月15日）、3は見本の「荷主.csv」の備考と「請求の決まり」の4です

全体の流れ

社長は締めに頼み、迷う1件を決めて承認するだけで、日報との突き合わせと請求書の下書きは担当AIが引き受ける

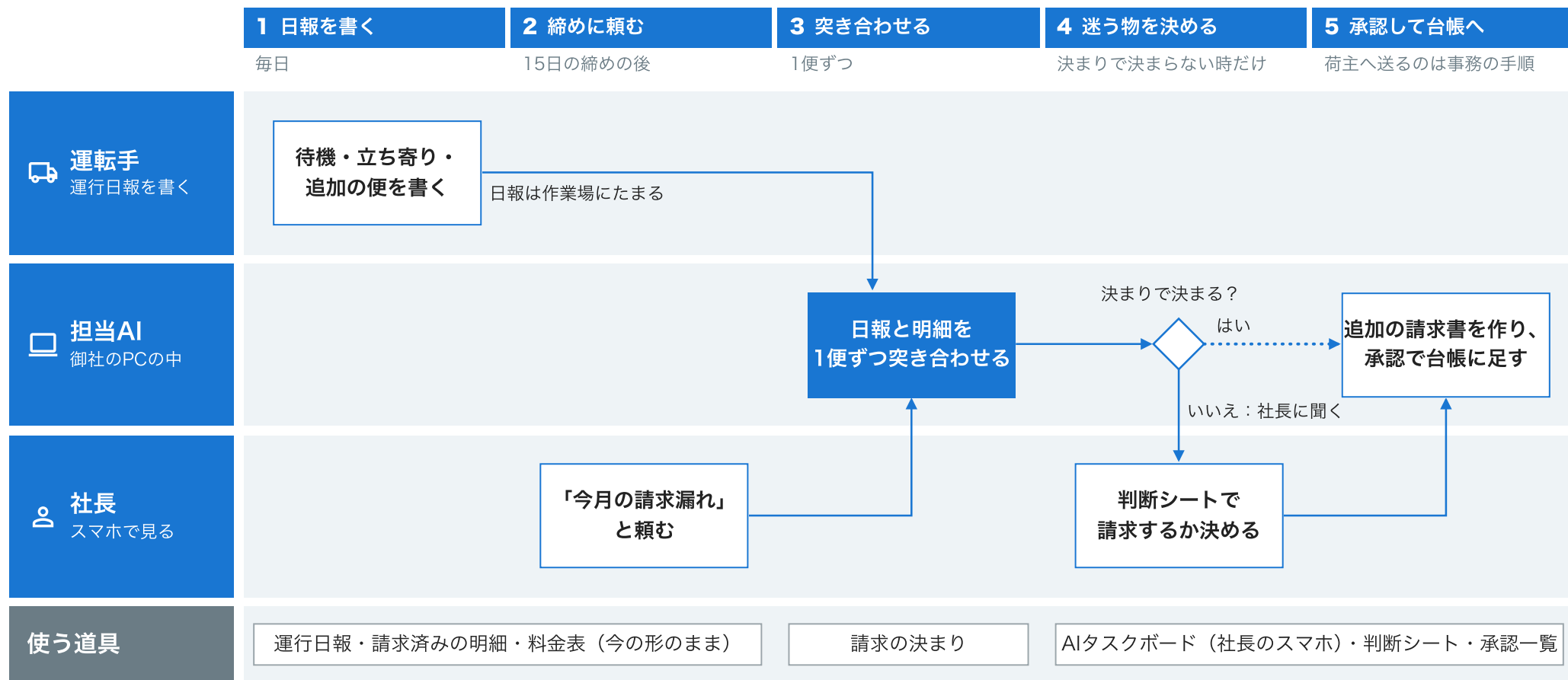
日報から追加の請求書が台帳に足されるまで（見本：架空の運送会社）

— 実線：今回の流れ

..... 点線：決まりで決まる時

◇ ひし形：判定

■ 主役の仕事



この資料の言葉

担当AI

御社のPCの中で、この仕事を受け持つAI

判断シート

AIが決められない所を、選び方と変わることを並べて社長に聞く1枚

承認一覧

追加の請求書をまとめて見て、社長が承認する1枚

注：番号は次のページから説明する順。荷主へ請求書を送るのは、承認の後に事務の森さんがいつもの手順で行い、担当AIは送りません

出所：見本の作業場の「請求の決まり」と担当AIの手順（見本の運送会社は架空）

1 1便ずつ突き合わせる

締め一言で頼むと、担当AIは日報と請求済みの明細を 運行日・車番・荷主で1便ずつ当て、明細に無い便を見つける

社長のスマホの画面（左・中）と、頼んでから担当AIが見る物（右）

1 社長がスマホで頼む

← 戻る

ファイルと言

選んだスキル

請求漏れの確認

締めの分の請求漏れを探す

お客様や件名（カードの題になります）

今月の請求漏れ（10月15日締め）

カードの題：今月の請求漏れ（10月15日締め） 請求漏れの確認

ファイル

+ ファイルを選ぶ

写真・PDF・Word・Excel・PowerPoint・動画。1ファイル20MBまで、合計50MBまで（仮）。

メールの本文を貼る・一言

今月の請求漏れを探してください（10月15日締めの分）。

メールは、スマホのメールの本文を長押ししてコピーして貼ってください。

始める

「始める」を押すと、カードができて担当AIが作ります。

2 突き合わせの結果

10月15日締めの請求漏れ

運行日報（9/16～10/15）と、出した請求書の明細を1便ずつ突き合わせました。（見本のため、請求書は作っただけで、どこにも送っていません）

177

日報の便

176

請求済みの運賃の行

176

一致した便

漏れ4件＝請求書に無かった便1（追加の便）＋一致した便の中で請求していなかった料金3（立ち寄り1・待機料2）

漏れの合計（4件）

請求する3件 税抜57,000円（税込62,700円）

岡田社長が決める1件 税抜8,000円（税込8,800円）

4件すべて請求した場合 税抜71,500円

色の付いた所だけ見てください。各カードの下、太い枠の「漏れていた料金と金額」だけ見れば足ります。

薄い青色＝決まりどおり請求する

頼んでから担当AIが見る物	今回の見本で分かったこと
■ 一言欄 ➢ 「今月の請求漏れを探してください（10月15日締めの分）。」と書いて始める	看板の「請求漏れの確認」から
■ 運行日報 ➢ 運転手が毎日書く。待機の分・立ち寄り・メモがある	177便（9月16日～10月15日・8台）
■ 請求済みの明細 ➢ 配車表から作った請求書の行	181行（運賃176・待機料3・立ち寄り2）
■ 当て方 ➢ 運行日・車番・荷主の3つで1便ずつ。日と車番だけでは当てない	一致176便・明細に無い便1

社長は一言を書いて「始める」を押すだけです。日報と明細は、今の形のまま作業場に置いておきます

注：同じ日に同じ車が2便走ることがあるため（9月29日の8号車は午前と午後の2便）、日と車番だけでは当てません（請求の決まりの2）。見本のため、請求書は作っただけで、どこにも送っていません

出所：見本の作業場で、担当AIの「請求漏れの確認」（10月15日締めの分、2026年10月16日）を実際に動かした結果（見本の運送会社・荷主・運転手・金額は架空）

2 便ごとに当てる

担当AIは便ごとに運賃の行・待機・立ち寄り・料金表の順に当て、漏れ4件と、請求しない物・請求済みの物を見分ける

日報の気になる便のうち7便を、当て方の順に当てた結果（10月15日締め）

	明細の運賃の行	待機（分）	立ち寄り	明細の追加の行	料金表と決まり	結果
見る物	決まり2の1	30分を超えたか	荷主の頼みか	請求済みか	決まり2・4	
9月29日						
8号車 ひがし建材・午後の追加の便	行が無い	10分	なし	なし	運賃 48,000円	請求する
10月2日 2号車 みなと食品・東町店に立ち寄り	あり	15分	東町店（荷主の頼み）	なし	立ち寄り 3,000円	請求する
10月7日 5号車 あおい紙器・工場の出荷の遅れ	あり	100分	なし	なし	待機料 2,000円×3	請求する
10月9日 1号車 みなと食品・倉庫の荷ぞろえの遅れ	あり	130分	なし	なし	取引15年・初めての待機料	社長が決める
9月25日 6号車 やまびこ青果・市場のせりが長引き	あり	55分	なし	なし	料金表に待機料が無い	請求しない
10月14日						
4号車 ひがし建材・積み替え	あり	10分	当社の車庫（当社の都合）	なし	当社の都合は請求しない	請求しない
10月13日 8号車 こはる家具・工場の積み込みの遅れ	あり	75分	なし	待機料の行あり	（見ない）	請求済み

漏れのうち3件は決まりどおり請求できるが、 長い取引先に初めて待機料を請求するかだけは決まりで決められない

漏れていた4件の金額（左）と、決まりで決まらない1件の中身（右）

漏れていた4件の金額（税抜・円）

追加の便（ひがし建材 9月29日）	48,000
待機料（あおい紙器 10月7日）	6,000
立ち寄り（みなと食品 10月2日）	3,000
待機料（みなと食品 10月9日）	8,000

拡大：みなと食品の待機料1件（決まりで決まらない所）

取引を 始めた年	2011年（15年）
待機料が 料金表に 載った	2024年4月
これまでの 待機料の 請求	一度も無い
10月9日の 待機	130分 → 8,000円

取引10年以上の荷主に初めての種類の料金を
請求する時は、AIは決めず社長が決める
（決まりの4）

今回決めること（1件）

- 10/9 1号車 佐野 みなと食品株式会社
冷凍食品 市内配送（運行日報で確認）。
- 着いた時刻 07:40、積み込み開始 09:50、
待機130分。メモ「倉庫の荷ぞろえの遅れ
で待機」（運行日報で確認）。
- 数え方：130分のうち30分を超えた100分
を、30分ごとに数えて端数は切り上げ →
4回 × 2,000円 = 8,000円（税込8,800
円）。
- 取引は2011年から15年。待機料は2024年
4月から料金表に記載（約2年半）。
- 荷主.csvの備考に「これまで一度も請求
していない（岡田社長の判断）」とある。
- 請求の決まり（資料/請求の決まり.md）
の4：取引10年以上の荷主に初めての種類の
料金を請求する時は社長が決める

担当AIは請求するかを決めず、事実と数え方を
並べて社長に聞く

注：金額は担当AIの突き合わせの結果（記録）と判断シートの「事実と未確認」から。右の画面は判断シートの「今回決めること」。待機料8,000円は税込8,800円です

出所：見本の作業場で、担当AIの「請求漏れの確認」（10月15日締め分、2026年10月16日）を実際に動かした結果（見本の運送会社・荷主・運転手・金額は架空）

みなと食品の待機料は、請求する・しないで変わる金額と理由を並べた1枚で、社長が選ぶだけで済む

担当AIが作った判断シートのQ1（左）と、その中身の比べ（右。シートの選択肢・選ぶと変わること・おすすめの理由から）

1 社長のスマホに届くシート（Q1）

Q1 10/9の待機130分（8,000円）を、みなと食品に請求するか

15年の取引先に、2年半あえて請求してこなかった待機料を、初めて載せるかどうかの判断です。

☐ **A 請求する**

選ぶと変わること：みなと食品の追加の請求書 AS-2610-01-A に足します。みなと食品の追加の請求書は、立ち寄り3,000円（税込3,300円）+待機料8,800円=税込12,100円になり、追加の請求の合計は税込62,700円から71,500円になります。

☒ **B 今回は請求しない（記録だけ残す）** おすすめ

選ぶと変わること：みなと食品は税込3,300円のまま、追加の請求の合計は税込62,700円のままです。130分の待機は記録に残します。

☐ **C 別案（下の窓に書く）**

選ぶと変わること：書いていただいた内

	案A 請求する	案B 推奨・社長が選んだ 今回は請求しない	案C 別案を書く
みなと食品の追加の請求書	■ 税込12,100円（立ち寄り3,300円+待機料8,800円）	■ 税込3,300円のまま（立ち寄りだけ）	■ 書いた内容に合わせて作り直す
追加の請求の合計	■ 税込71,500円	■ 税込62,700円	■ 内容による
10月9日の130分の待機	> 追加の請求書 AS-2610-01-Aに足す	> 請求せず、記録に残す	> 内容による
判定	○ 130分は長いので、請求するのも筋が通る	◎ 2年半あえて請求してこなかった判断があり、事前の話なしに初めて載せると驚かれやすい	○ 書いた内容に合わせて、請求書の作り方を考え直す

注：請求するかはAIが決めず、社長が決めます。続くようなら、先に物流課の担当の方へ話してから次の締めで請求を始める形もシートで示しました

社長が「今回は請求しない」を選んで承認すると、追加の請求書3通・税込62,700円が請求台帳に承認済みで足される

社長のスマホの画面（答えてから台帳に足されるまで。順に1～3）

1 判断シートで「B」を選ぶ

回答

選び終わったら「回答文を作る」を押し、「コピー」した文を、この依頼の看板（頼み事の一覧の画面）のカードの会話欄に貼って送ってください（「Q1 B」のように届きます）。別案を選んだ時は、下の窓に中身を書いてから作ってください。

回答文を作る

コピー

最初に戻す

Q1 B

このあと行うこと

「回答文を作る」で「Q1 B」ができ、カードの会話欄に貼って送る

2 承認一覧で承認する

10月15日締め追加の請求書（3通）

荷主ごとに、漏れていた分の追加の請求書と、その中身を並べています。中身を確認、よければ一番下の「承認する」を押してください。

追加の請求書 3通

合計 ¥62,700（税込み）

運行日報177便と請求済みの明細を突き合わせ、漏れを4件見つけました。決まりどおり請求する3件を、荷主ごとの追加の請求書3通にしました。みなと食品の待機料（10月9日・130分・税込8,800円）は、岡田社長が決めて今回は請求しません（記録だけ残します）。

1通目 ひがし建材株式会社 御中

決まりどおり

¥52,800

番号

AS-2610-02-A

追加の請求書3通・合計 税込62,700円を確認、いちばん下の「承認する」を押す

3 請求台帳に3通が足される

AS-2610-05	株式会社つばめ化成	通常	1,263,900	2026-11-30	発行済み
AS-2610-06	こはる家具株式会社	通常	1,119,800	2026-11-30	発行済み
AS-2610-02-A	ひがし建材株式会社	追加	52,800	2026-11-30	承認済み（送付前）
AS-2610-01-A	みなと食品株式会社	追加	3,300	2026-11-30	承認済み（送付前）
AS-2610-03-A	株式会社あい紙器	追加	6,600	2026-11-30	承認済み（送付前）
通常 6通			6,915,700円		

台帳に3行が「承認済み（送付前）」で足される。荷主へ送るのは事務の森さんのいつもの手順

注：時間の目安：手作業で約55分の請求漏れの確認が、確認の約5分になります（見本の条件での試算。担当AIの作業は約6分（見本の撮影で実測）、手作業は日報1便15秒×177便＋請求書1通5分×3通で計算）。見本のため、請求書は作っただけで、どこにも送っていません

出所：見本の作業場で撮影した社長のスマホの画面（見本の運送会社・荷主・運転手・金額は架空）

運行日報と請求済みの一覧は一例で、作業日報や 会計ソフトの売上一覧など、今お使いの記録に合わせて作り直せる

今回の見本で使った物と、御社に合わせて置き換えられる物

□ 今回の例 ■ 置き換えられる物



ここでお見せしたのは一例です。「ここをこう変えたい」をお聞かせください。

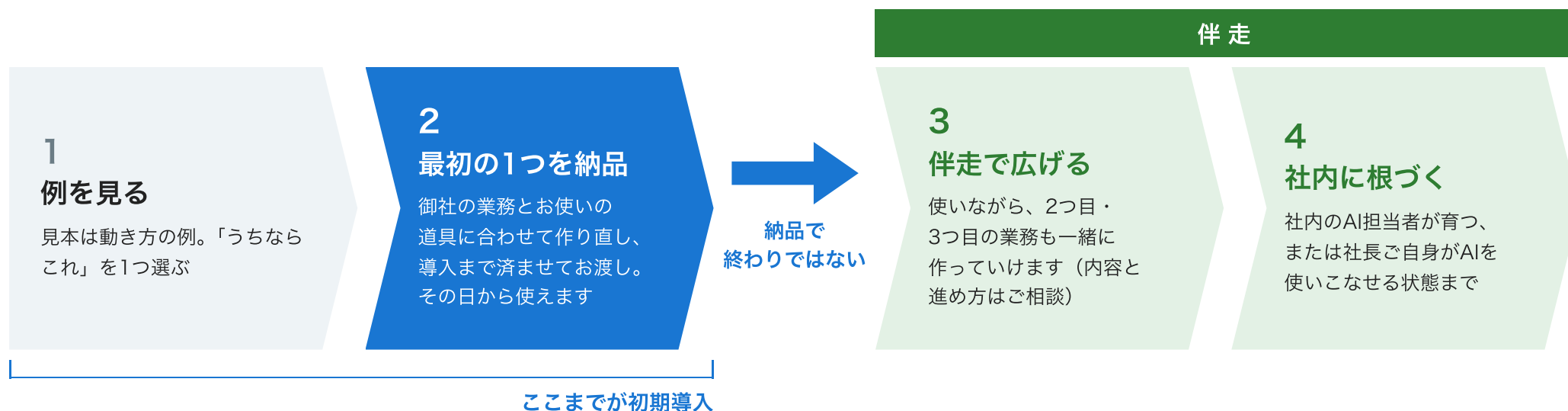
注：右の列は置き換えの例です。実際にどれを使うかは、お話を伺ってから決めます

導入とその先

最初の1つを使える状態で納品し、その先は伴走で一緒に広げていく

最初の1つの納品から社内に根づくまでの4段と、お問い合わせ先

納品までと、その先の伴走



お問い合わせ先

資料のご請求・お問い合わせ

ai-setup@seknack.com

株式会社SeKnAck

注：伴走の内容と進め方は、ご相談のうえ決めます。

出所：株式会社SeKnAck（このページまでの画面と数字は見本の作業場の物。見本の運送会社・荷主・運転手・金額は架空）